

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	経営論
科目基礎情報						
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	創造工学専攻（建設環境工学コース） （2023年度以前入学者）		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書：守屋貴司・近藤宏一「はじめの一步 経営学 第2版」 ミネルヴァ書房					
担当教員	白石 希典,山口 良三,西川 良隆,後藤 健文,田村 賢二					
到達目標						
1. 企業の経営活動や経営管理、経営組織を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。 2. ビジネス法務や財務管理等を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。 3. 経営戦略やマーケティング等を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	企業の経営活動や経営管理、経営組織を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。		企業の経営活動や経営管理、経営組織を把握し、それら関連する基本的な問題を解くことができる。		企業の経営活動や経営管理、経営組織を把握し、それら関連する基本的な問題を解けない。	
評価項目2	ビジネス法務や財務管理等を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。		ビジネス法務や財務管理等を把握し、それら関連する基本的な問題を解くことができる。		ビジネス法務や財務管理等を把握し、それら関連する基本的な問題を解けない。	
評価項目3	経営戦略やマーケティング等を理解し、関連する事象や時事トピックスを説明できる。		経営戦略やマーケティング等を把握し、それら関連する基本的な問題を解くことができる。		経営戦略やマーケティング等を把握し、それら関連する基本的な問題を解けない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 A-2						
教育方法等						
概要	企業とそれを動かす仕組み、および取り巻く環境と現実起こっている事象を理解するために、教科書、参考資料を使用して講義を行う。					
授業の進め方・方法	教科書にもとづいて講義を行う。なお、必要に応じて、理解度を向上させるため、定期的に小テストを行って各人の積極的な対応を促す。					
注意点	予習を中心とした受講が基本。講義以外に、1週間に4時間程度の自主学習を前提としている。 「授業計画」について (※) のついているテーマでは、テキスト対象事項ないため、別途資料を作成配布する。 【】 は、テキストの章の番号を表している。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ガイダンス ・経営の基本 【序章 大学でどう学ぶか】		・講義の進め方、評価方法（小テスト3回、期末テスト等）を周知する。 ・学問としての位置付けを理解する。	
		2週	・社会と企業経営 【第1章】		・企業の役割、企業形態、業種や業界等を理解する。	
		3週	・経営管理 ① 【第2章】 ・ビジネス法務 ① (※)		・会社の仕組み、各種機関、取締役等の役割などを理解する。 ・株式会社の法律関係、ステークホルダー、コーポレートガバナンス等を理解する。	
		4週	・経営管理 ② 【第3章】		・会社の管理・運営を理解する。	
		5週	・経営組織 【第4章】		・会社の組織、基本的な構造とその機能を理解する。	
		6週	・ビジネス法務 ② (※)		・企業関連の法体系を理解する。	
		7週	・財務管理 ① (※)		・企業会計制度、資金調達等を理解する	
		8週	・財務管理 ② (※)		・財務管理、経営分析等を理解する。	
	2ndQ	9週	・雇用 【第5章】 ・労働組合 【第6章】		・企業における雇用、人材育成ほかを理解する。 ・企業における労働組合の現状とその役割を理解する。	
		10週	・経営戦略 ① 【第7章】		・戦略、計画の役割と関係を理解する。	
		11週	・経営戦略 ② 【第8章】		・各種戦略の内容と考え方を理解する。	
		12週	・企業の社会的責任 【第12章】		・企業の社会的責任を現状に沿って理解する。	
		13週	・マーケティング 【第9章】		・マーケティングの考え方と手法を理解する。	
		14週	・生産管理 【第10章】		・生産システムとその管理手法を理解する。加えて、イノベーションも理解する。	
		15週	・グローバル化 【第14章】 ・新しい企業と経営 【第13章】		・グローバル化と多国籍企業等を理解する。 ・NPO、女性、ワークライフバランス、公共セクター等を理解する。	
		16週	(31)+(32) 前期末試験			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	小テスト	合計	
総合評価割合		60	40	100	
評価項目1		20	15	35	
評価項目2		20	15	35	
評価項目3		20	10	30	